

学道一如

発行
小樽双葉高校
生徒会通信
2024年4月30日
第10号

「ありがとう」の言葉が潤滑油に 西洋の建築物にワクワク 2・3 瀧上萌友

瀧上さんのファミリーはリバー

くんと妹、ご両親の4人家族で陽気な一家だった。夕食後はウノやオペレーションゲームをして楽しんだ。庭が広く、犬2匹、猫、鶏、魚を飼い、野生の鳥用の餌かごが備えられ、野鳥を観察していた。鳥のことも詳しく教えてくれ、すごく優しく接してくれた。その度に「サンキュー」と伝え、それがさらにコミュニケーションを円滑にすることを実感した。

もたくさん撮ってきた。



議会の一室。奥にワシントンの肖像画。

美術部員の瀧上さんは西洋建築物や内装がとても気に入り、写真



リバーくんと瀧上さん。ジャパニーズフェスタで書道と折り紙を披露した。

ずっと英語を聴いていたのでリスニング力は上がったと感じている。

「ホストマザーは、初めのうちは不安そうなお私を「そっと見守る」優しさをもって接してくれ、それがうれしかった。関わり方が上手で尊敬した。」という。6月に自分がホストになるのときに見做りたいと思っている。そのマザーと政治の話をするのがあった。米国のウクライナ支援のことだが、彼女は「困っている国を支援できるのは誇り

だ」と語っていたのが印象に残っている。



12万km²の公園の向こうがニューヨーク。左端がホストマザー。

積極性、リスニング力、発音が向上 2・3 山谷愛花

ホストのセリア・カーロンはご両親が教員、お兄さんは大学生で家を離れていた。お父さんはよくジョークを言って笑う人で、一緒にゲームをする仲の良い家族だ。セリアは両親に勉強を教えるもらうことも多い。

セリアは車を持っていて、よくドライブに連れて行ってくれた。最後の週の水曜日にはアメリカン・レストランに連れて行っ

てくれた。店員はカーボイの装いで、誕生日を祝うときは賑やかだった。

米国の食事は味付けが濃く、油分・糖分が多いため、胃の弱い私には負担が大きかったが、ホストは気遣いを示してくれた。英語は翻訳機能を利用し、発音を聞いて真似たり、メモを取ったりしたので、リスニング力や発音は向上したと思う。



お父さんがビーガンなので、夕食にアンティチョーク、豆腐のハーブ和え、ライスが出た。

シャンプレーン湖で



雪だるまを作るセリアと山谷さん

私は人見知りな方なので、米国人の開放性や積極性に倣い、友人を増やしたいと思った。ホストのセリアは明るく積極的で友人が多かった。セリアも6月に来る予定だ。



山谷愛花さんとセリア



アメリカンレストラン「TEXAS」



地元のファンク系バンドのコンサートの後でアイスクリーム店へ。



猫のチッチ。

